

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2024年10月15日～10月28日

1. 初期支援（はじめのかかわり）

メンバー 齋藤大、成田、齋藤慶、岩崎、須藤、永井、蒔苗、吹田、福士、中嶋、境、外嶋、藤田（13名）

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	4	8	1	0	13

前回の改善計画
・利用者、家族が不安な気持ちなく安心して利用できるよう、全職員が個々に意識して積極的にコミュニケーションを図る。その結果、利用者、家族の思いを汲み取り、その時々状況にあったサービスの提供につなげる。
前回の改善計画に対する取組み結果
・初期のアセスメントの段階からケアマネジャーだけではなく、担当となる職員も関わることや、利用開始となつてからも全職員が積極的に関わり、良好な関係構築を意識したコミュニケーションを実践することで、利用者、家族からも思いや要望を吸い上げることが概ねできていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	5	8	0	0	13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	3	9	0	1	13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	4	8	1	0	13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	3	9	0	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用開始前に状態確認を行い、アセスメントシート、利用連絡票及び口頭にて必要な情報を共有することができている。 ・困っていることがないか都度確認するようにしている。 ・特に利用初日は不安な気持ちに寄り添うことができた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・サービス利用時の不安に対して配慮しているつもりだが、業務が優先となり思うように対応できないこともある。 ・職種上利用者、家族とのコミュニケーションが不足し、密な関係づくりに至っていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・全職員（事務も含む）が良好な関係づくりを意識した積極的なコミュニケーションを図り、利用者、家族の思いや気持ちを汲み取り、即時的に必要なサービスの提供へと繋げる。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2024年10月15日～10月28日

2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）

メンバー 齋藤大、成田、齋藤慶、岩崎、須藤、永井、蒔苗、吹田、福土、中嶋、境、外嶋、藤田（13名）

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1	9	3	0	13

前回の改善計画	・本人の目標「～したい」の把握はもちろん、担当が主となり「～したい」を目指した日々の関わりを実践していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・アセスメントシートやライフサポートプランから「～したい」の確認を行っているが、日々の業務に追われ時間をかけた関わりまでは至っていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	2	9	2	0	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	3	8	2	0	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	1	9	3	0	13
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	1	7	4	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者本人の目標をライフサポートプランを通して確認し、把握することで対応に繋げている。 ・本人の「～したい」を個別ケアとして対応することができている。 ・ケアマネジャーだけでなく担当もモニタリングに関わり、プランや支援について考えることができている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・担当の利用者以外の把握までには至っていない。 ・本人と家族の目指す方向が異なる場合も多く、本人の「～したい」を目指す関わりができていないこともある。 ・日々の業務に追われ、ゆっくり時間をかけた関わりまでには至っていない。 ・感染症等の感染対策で、希望に対応することができないこともあった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・継続して、本人の「～したい」の把握と、本人の「～したい」を目指した関りを職員個々に意識し実践していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2024年10月15日～10月28日

3. 日常生活の支援

メンバー 齋藤大、成田、齋藤慶、岩崎、須藤、永井、蒔苗、吹田、福士、中嶋、境、外崎、藤田 (13名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	7	3	1	13

前回の改善計画	・担当に限らず職員全員が、利用者全員の「以前の暮らし方」を10個以上知って支援できるよう、「以前の暮らし方確認シート」なるものを準備し活用し把握に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	・「以前の暮らし方」を把握するための確認シートなるものの活用に至らず、本人、家族とのコミュニケーションによる把握や、基本的なアセスメントシート等による把握に留まった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	6	5	1	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	8	3	1	1	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	9	1	1	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	7	5	1	0	13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	5	7	1	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者を知り、適切な支援ができるよう、アセスメント時は細かな聞き取りを行うよう努めている。 ・利用者個々の状況、状態に合わせて介助することができた。 ・体調不良時は通いから訪問へ切り替えたり、訪問回数を増やすなどで即時的に対応することができている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・「以前の暮らし方」について、担当利用者の把握はできているが、担当利用者以外の把握が不十分である。その原因として、業務に追われコミュニケーションに充てる時間が不足し、把握が不十分となっている。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・本人を理解し知るため、また、声にならない声を拾い上げ即時的な支援に繋げるためにも、職員個々に意識的に関わり申し送りや記録で情報を共有していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2024年10月15日～10月28日

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 齋藤大、成田、齋藤慶、岩崎、須藤、永井、蒔苗、吹田、福士、中嶋、境、外崎、藤田(13名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	7	5	1	13

前回の改善計画	・担当が主となり、必要な地域資源の掘り起しが十分であるか再確認を行う。その上で、社会性を維持しながら地域の中で生活が継続できるよう支援に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	・本人が在宅生活を継続するために最低限必要な社会資源の把握や活用はできているが、そこまでに留まっていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	11	0	1	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	7	4	1	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	9	2	1	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	3	9	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・本人、家族へのアセスメントやコミュニケーションの中で聞き取りし、職員間での情報共有することで理解、把握に努めている。 ・本人が自宅で生活していくためにはどのような支援が必要かを考え、職員同士で話し合い支援に繋げている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・民生委員の把握までには至っていない。民生委員を活用しなくてもよいケースが多いことも把握に至らない要因となっている。 ・本人と家族の関係が保てるように相談、助言を行っているが、傾向として関係が悪く関わりたくない、関わらないといったケースが増えてきている。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・引き続き、本人、家族とのアセスメントやコミュニケーションの中で聞き取りし、地域との関係性が保たれている方に関しては、関係が途切れないように支援していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2024年10月15日～10月28日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 齋藤大、成田、齋藤慶、岩崎、須藤、永井、蒔苗、吹田、福士、中嶋、境、外崎、藤田 (13名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	10	2	0	13

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 利用者、家族の状況の変化に常にアンテナを張りながら、事業所として適切なサービスの提供を心掛けることはもちろん、把握している地域資源も有効活用することで更なる柔軟な対応に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源も活用しながら、利用者の状態や状況に応じて概ね柔軟に対応することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	11	2	0	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	9	3	1	0	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	7	6	0	0	13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	7	1	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 地域資源の活用は限られているが、転倒して起き上がれなくなった時に近隣住民等に助けられている方もいる。 ゴミ出しサポートや配食サービスなどを利用している方もいる。 突然の状況の変化に対応できるように、柔軟な考えを持ちながらの支援を心掛けている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 地域資源を活用する割合より、自分たちで支える割合が多い。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 利用者、家族の状態や状況に柔軟に対応するためにも、常に地域資源の活用を念頭に置いた対応に心掛ける。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2024年10月15日～10月28日

6. 連携・協働

メンバー 齋藤大、成田、齋藤慶、岩崎、須藤、永井、蒔苗、吹田、福土、中嶋、境、外嶋、藤田(13名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	5	2	3	13

前回の改善計画	・地域の会議や行事などの開催情報の収集に努め、計画的に満遍なく職員が参加することで地域の中の一員であることを実感できるように努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	・町内会の総会や運営推進会議、回覧板から地域の催し物の情報収集を行ったが、日々の業務に追われ限られた職員のみ参加となり、全職員が地域の一員であることを実感するまでには至らなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1	6	1	5	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	5	0	7	13
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	3	3	2	5	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	4	1	7	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・回覧板等で地域の行事の開催情報を収集し、町内会の総会やラジオ体操、清掃活動、南高校の学祭などに参加することで交流する機会を確保し、地域の一員であることを実感できた。 ・参加職員は限られるが、包括支援センターの会議やサービス機関との会議に参加することができている。 ・聖愛高校生徒のボランティアの受け入れ、お花の寄贈などで多少ではあるが生徒との交流の機会を確保できている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・新型コロナウイルスの影響が完全になくなったわけではないため積極的になれなかった。 ・登録者以外の訪問は、多くが利用を検討している方やケアマネジャー等に限定されている。 ・会議の参加は、ケアマネジャーや担当職員などに限定されている。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・引き続き、運営推進会議の場や回覧板等で情報収集を行い、地域の活動や行事に参加し、地域の中の一員であることを実感できるように努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2024年10月15日～10月28日

7. 運営

メンバー 齋藤大、成田、齋藤慶、岩崎、須藤、永井、蒔苗、吹田、福士、中嶋、境、外嶋、藤田 (13名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0	3	7	3	13

前回の改善計画

- ・地域住民に向けての勉強会や介護相談会などの開催を、近隣事業所と協働して実現させることで、地域の中での存在価値を高める。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・他事業所と協働ではあるが、地域住民に向けての勉強会と介護相談会を開催することができた。しかしながら日々の業務に追われ開催が1回のみとなっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	3	6	3	1	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	4	9	0	0	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	0	8	2	3	13
④	地域に必要なとされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	1	3	5	4	13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・意見や苦情に対しては速やかに受付対応し、申し送りや受付票にて共有し改善へと繋げることができている。
- ・地域の施設と共同で、認知症サポーター養成講座や介護相談会を企画、実現し開催することができた。
- ・運営推進会議において、地域の方の意見を吸い上げるよう努めている。
- ・継続してInstagramでの情報発信や地域の施設、店舗にパンフレットを設置していただくことで、取組みや存在をPRできている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・地域の他事業所と共同で、認知症サポーター養成講座や相談会を企画、実現し開催することができたが、双方業務に追われその後の開催には至っていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・形にこだわらず、地域の中での存在価値を高めるための行動をチームとして模索し実行する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2024年10月15日～10月28日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 齋藤大、成田、齋藤慶、岩崎、須藤、永井、蒔苗、吹田、福土、中嶋、境、外嶋、藤田 (13名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5	6	1	1	13

前回の改善計画	・引き続き介護支援専門員等の資格取得や各種研修参加を計画的に推進し、職員全体のスキルアップに努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	・計画的に研修計画を立て、集合型研修やZoom研修など、参加しやすい形を都度状況を踏まえて選択しながら満遍なく学びの機会を確保し、職員のスキルアップにつなげることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	8	5	0	0	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	5	4	1	3	13
③	地域連絡会に参加していますか	1	1	2	9	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	7	1	2	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・個々にスキルアップや必要な情報が得られるように研修計画を作成し計画的に研修に参加することができている。 ・大きな事故に繋がらないようにヒヤリハット、うっかりメモを活用することで情報を共有しリスクマネジメントに取り組むことができている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域の会議や連絡会への参加は、参集対象が限られることもあるため限られた職員のみ参加となっている。 ・スキルアップに対して意欲的でなく、自主的な参加には至っていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・引き続き、課題である介護支援専門員等の資格取得を含めた研修参加を計画的に推進し、職員全体のスキルアップに努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2024年10月15日～10月28日

9. 人権・プライバシー

メンバー 齋藤大、成田、齋藤慶、岩崎、須藤、永井、蒔苗、吹田、福土、中嶋、境、外嶋、藤田 (13名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	7	3	0	13

前回の改善計画

- 虐待の芽チェックリストを活用し、職員個々のケア方法について定期的な振り返りの機会を設ける。
- 成年後見制度について研修委員会が主となって企画し、全職員での学びの機会を確保し理解とつなげる。

前回の改善計画に対する取組み結果

- 定期的に身体拘束撤廃委員会や、虐待の芽チェックリストを実施することで不適切なケアがなされていないか確認し見直す機会が確保できている。
- 成年後見制度についての学びの機会を確保し、理解へ繋げることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	11	2	0	0	13
②	虐待は行われていない	10	3	0	0	13
③	プライバシーが守られている	7	6	0	0	13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	1	0	12	13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	8	5	0	0	13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 身体拘束撤廃及び虐待防止委員会を定期的開催することで、自らの対応を見直す機会を得ている。
- 成年後見制度について学びの機会を確保できた。
- 排泄介助や入浴介助の際はプライバシーに配慮した対応ができている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- 成年後見制度を活用する方はいなかったが、常に利用者の状況、状態を確認し、不利益がないように活用を意識しながらの関わりが必要であると感じている。
- 子どもに言いづけるような言葉遣いが気になる職員がいたが、注意するまでに至らなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- 不適切な対応やケアがあった際には、職員同士遠慮なく注意しあえる環境を作り、定期的に「不適切ケア」がないか確認する機会を確保する。
- 研修委員会が主となり、成年後見制度について学びの機会を確保することで活用に備える。